

令和5年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 31

千葉県立船橋二和高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間：5分程度
(3) 作文	課題作文 50分 400字以内。

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 総合所見	記載内容に問題があると判断された場合は、審議の対象とする。
オ その他の欄	記載内容に問題があると判断された場合は、審議の対象とする。

(2) 面接〔70点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～c c）で得点化する。

ただし、2名の評価者がcと評価した項目が1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
(ア) 入学への意欲	本校を志望した動機が明確である。入学後の高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
(イ) 応答の的確性	評価者の質問の意図を正確に理解し、的確に応答することができている。
(ウ) 身だしなみ・態度	面接における態度に、一生懸命さ、誠実さが感じられる。中学生らしい清潔感のある身なりである。言葉遣いや基本的礼法がきちんとしてできている。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。3つの評価項目の評価の組合せ（a a a～c c c）で得点化する。

評価項目	評価基準
ア 文字数	定められた長さの文章か。a～cの3段階で評価する。
イ 内容・文章	課題に即した内容の文章か。a～cの3段階で評価する。
ウ 表記	表記及び言葉の遣い方は適切か。a～cの3段階で評価する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

調査書の得点 評定	面接の得点	各高等学校において別に 定める検査の得点	総得点
135点	70点	30点	235点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。